

## 授業改善書

科目名	教育心理学(木3限)
担当者	藤枝静暁

### 授業の概要

教育心理学についての基本的な知識や概念を体系的に理解し、幼児教育、小学校教育 ならびに特別支援教育に対応しうる基礎的知識と実践的能力の基礎を獲得させる。幼児 期、児童期に必要な教育心理学の基本的事項を体系的に学ぶ。昨今、話題となることが多い特別支援教育、保護者対応、幼保小連携、小中連携などについても取り上げる。

### 授業の問題点

「授業の内容について(3項目)」「授業方法について(5項目)」「授業全体について(2項目)」の全てで5点満点でほぼ 4.80点から 5.00点の間であった。こうした結果から、授業に大きな問題は無かったと考慮される。また、「全体的に振り返って、授業に満足できたか」の項目では5点満点で 4.83点であり、満足度は高かったと考えられる。

### 授業改善の課題・方策

「予習・復習をしましたか」の項目は5点満点で 3.67であり、家庭学習をもう少し増やす必要があると思われる。自宅での予習・復習に加えて、図書館などで調べる、まとめるといった学習時間を増やして欲しい。将来の教員採用試験対策のためにも、自習の習慣を付けて欲しい。

### その他

本授業では、アクティブ・ラーニングを取り入れている。講義を聴く、教員から知識を聞いて学ぶという受け身の学習態度ではなく、課題に対して自分の意見をまとめ、言葉で表現し、仲間と意見交換を行うという積極的学習を行った。授業は2人1組でペアとなり学習するペアワークが主体である。ペアワークをスムーズに行えるように、授業の冒頭で、コミュニケーション・ゲームを取り入れている。学生の意見を見ると、「この授業のおかげで教職のメンバーと仲良くなることができた。ペアワークをすることにより自分と違う意見を知り話し合うことがとても楽しく、教育への興味や関心も高まった。」「ペアワークによって90分話を聞き続けることは大変だが、自分たちで意見したり、身近なことに置き換えたりして、頭に残りやすくてとてもよかった。他の授業でも取り入れてほしいと思った。」「授業でペアワーク形式で意見交換等をするのはとても新鮮でした。普段聞けないこと、聞く機会がないようなことも多く貴重な経験になりました。」などがあり、学習に対する意欲の向上や自己表現と他者理解といった効果もあったようである。